



小金井 2023.12/1 No. 527

月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL 042-383-1184



小金井市HP
掲載のカラー版
月刊こうみんかん
月刊こうみんかん
バックナンバー
にアクセスするこ
とができます。

市民へ向けて 21 年 文学史の師 山田有策さん (東京学芸大学名誉教授)

公民館貫井南分館主催高齢者学級 「けやき学級」名物先生

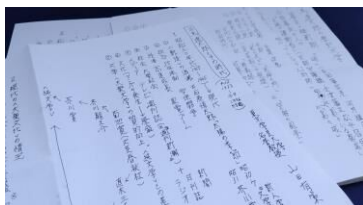
小金井市公民館全館が各館独自にカリキュラムを組む連続講座の高齢者学級、貫井南分館では「生き甲斐ある毎日のために」と題して、昭和 58 年からスタートし、今年度で 40 年目となる看板講座です。

カリキュラムは、経済、健康、体操やスポーツ、音楽、歴史、野外学習など多岐に渡る中、「文学」があります。現在、この「文学」を担当していただいている講師が、東京学芸大学名誉教授の山田有策(ゆうさく)先生です。平成 15 年度から今年度で 21 年間担当し、ご講義いただいています。

分かり易く文学に疎い方にも 優しい語り口調での講義

山田先生の講座は立ったままで講義を進め、黒板に板書を行う、学校授業のようなスタイルです。

毎回公民館から依頼する講義テーマについて参加者に配布する資料も、「手書き」のものをご準備頂いています。毎回丁寧な字でB4サイズの紙3枚ほどにまとめられています。



資料を基に講座のテーマである人物が活躍した時代背景とその時代の文壇状況、生い立ちや交友関係、作品を書いた時の心情、他の作家作品との比較など、関連性のある話を分かり易く話していただけます。

○参加者の感想○

令和 5 年度けやき学級第 14 回「文学 司馬遼太郎とその時代」を受講して

山田先生の講義は、言葉がはっきりしていて聞き取りやすく、説明がとても分かりやすかったです。

昭和 30 年代、戦後の社会状況の中での文学・メディアの移り変わり、司馬遼太郎氏の事柄への探究、全体を俯瞰して書く態度と作品、司馬遼太郎氏の周辺の作家、多くの作品の説明があって、とても楽しく勉強になりました。



山田有策さんプロフィール

1943 年愛知県生まれ 日本近代文学研究者、東京学芸大学名誉教授。松本清張研究会代表理事

東京大学国文科卒、同大学院博士課程中退、東京学芸大学助教授、教授、2008 年定年退職(32 年間勤務)。三鷹市から小金井市に転居し 40 年余

●先生へのインタビュー●

○長年「けやき学級」で講義してきたの感想

非常に皆さん熱心なので喋りがいがありますね、学生とはまた違った雰囲気があります。

○公民館で講義することで感じる事

学生とは違って市民の方ですから、堅苦しく講義するっていう形ではなくて、砕いて喋ることが出来ます。学生相手だと「教えなきゃいけないこと」っていうのがあるものでフランクに話すことがなかなか難しいんです。こういう場(公民館)だと、割合に学問をもっと軟らかくして語ることが出来るものだから、その辺りが非常に面白いですね。

○一番印象に残る作家はどなたで作品は？

女性の中で一番際立っているのは樋口一葉ですね。男性ではやっぱり夏目漱石がずば抜けていると思います。一葉ですと、「たけくらべ」を代表的なものとして挙げる事ができます。一葉を超える女性作家はいないんじゃないかと。

漱石は日本でたった一人「文学とは何か？」っていうのを本気で考えてた作家。その点では学者でもあった訳ですね。際立っていますね。それでいながら、小説は小説として非常に豊かなものになっている。この二人はずば抜けているかなと思います。

○今後の活動

学校の現場からは離れているので、市民対象の活動ができれば一番いいんですが、段々こちらも衰えてきましたので、どこまで出来るか分かりませんが、喋ることが出来る限りは皆様とお付き合いしていきたいですね。

緑センター改修工事 臨時休館のおしらせ 休館期間 1月15日(月)～2月1日(木)

緑センター改修工事(照明設備、内装等)の実施に伴い、緑センターは臨時休館となります。

利用者の方にはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

なお、テニスコートにつきましては平日のみ利用が可能です。

問合せ先 公民館緑分館(☎042-387-7301)

市民講座

「家庭でできる防災アイデア」 本館

小金井市防災マップをベースに、ワークショップ形式で実施し、お住まいの地域とつながる防災アイデアを皆で考えます。

とき 1月27日(土) 午前10時～正午

ところ 公民館本館学習室B

講師 青木紘子さん(防災士・ラジオパーソナリティ)

対象 市内在住・在勤・在学の方(中高生世代大歓迎)

定員 30人(多数抽選)

参加費 無料

持ち物 筆記用具

申込 1月12日(金)(必着)までに左記申込フォーム、往復ハガキまたはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館本館「防災講座」係へ。



1月12日(金)(必着)までに左記申込フォーム、往復ハガキまたはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館本館「防災講座」係へ。

市民講座 「シルク素材を応用した

再生医療の新たな展開」 東分館

再生医療の基礎的なことや、材料開発の重要性、シルク素材を原料とした再生医療材料の開発などについて、分かりやすくお話しいたします。お気軽にご参加下さい。

回	日程	内容	講師
1	1/11(木)	再生医療と材料科学	中澤靖元さん(東京農工大学大学院工学府生命工学専攻教授)
2	1/18(木)	シルク再生医療材料の創製と血管再生の可能性	

※時間はいずれも午前10時～正午

ところ 東分館集会室A・B

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

参加費 無料

申込 12月4日(月)午前9時から電話、窓口、またはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館東分館「再生医療」係へ。



12月4日(月)午前9時から電話、窓口、またはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館東分館「再生医療」係へ。

第558回 市民映画会

「万引き家族」

(2018年制作 120分 PG12)

監督 是枝裕和

是枝裕和監督が、第71回カンヌ国際映画祭最高賞であるパルム・ドールや日本アカデミー賞などを受賞した作品です。軽犯罪を重ねる家族のつながりを描いたヒューマンドラマを上映します。

*PG12→12歳以下の方には保護者等の助言・指導が必要です。

とき 12月16日(土)

① 午前10時～ ② 午後2時～

ところ 公民館貫井北分館学習室A・B

入場 無料

当日、直接会場でご回40人(先着順)

いずれも30分前開場

問合せ先 公民館本館(Tel042-383-1184)

市民講座 「地域の医師と考える、

人生の最期の過ごし方」 東分館

誰もが避けて通れない人生の最期。地域の医療サポートを具体的に知ることで、自らの選択肢を広げることを目的に開催します。

回	日程	内容	講師
1	1/25(木)	小金井市の在宅療養支援の今	齋藤寛和さん(小金井医師会地域包括ケア担当理事)
2	2/1(木)	暮らしの中の看取り	大井裕子さん(小金井ファミリークリニック緩和医療専門医)

※時間はいずれも午前10時～正午

ところ 東分館集会室A・B

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

参加費 無料

申込 12月18日(月)午前9時から電話、窓口、またはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館東分館「地域の医師と考える」係へ。



12月18日(月)午前9時から電話、窓口、またはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館東分館「地域の医師と考える」係へ。

令和6年度 高齢者学級

「シニアカレッジ・くりのみ」 準備会 東分館

東分館で開催する高齢者学級「シニアカレッジ・くりのみ」の企画について、意見交換を行います。

とき 12月15日(金) 午前10時～11時

ところ 公民館東分館 集会室A・B

対象 市内在住・在勤・在学の方

申込 当日直接会場へお越しください。

問合せ先 公民館東分館

成人学校 健康づくり講座
「てまえ味噌づくり」 貫井北分館

長い間日本人の食生活を支えている伝統の発酵食品「味噌」をつくります。味噌づくり終了後、手づくり味噌試食会を行います。

- と き** 1月27日(土)午後1時～4時
と ころ 公民館貫井北分館生活室A・B
対 象 市内在住・在勤・在学の中学生世代以上の男性の方
定 員 12人(多数抽選)
参加費 1,200円(材料代)
申 込 12月25日(月)(必着)までに、往復はがきまたはEメール(1人1通)に、住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号を明記し、公民館貫井北分館「てまえみそ係」まで。

青少年教育事業 若者による自主講座
「森のガラポンビンゴ!～森に関するクイズに正解してビンゴを目指せ～」 貫井北分館

木製のガラポンで、出た数のクイズが正解できたらビンゴシートに穴をあけます。景品は参加者それぞれがついたガチャカプセルに入れます。

- と き** 1月28日(日)午前10時～正午
と ころ 公民館貫井北分館創作室
対 象 市内在住・在学の小学生
講 師 宮村連理さん(東京学芸大学附属小金井中学校教諭)
企 画 GTEラボ森のガラポンビンゴ
定 員 15人(多数抽選)
参加費 100円(材料費)
申 込 12月26日(火)(必着)までに、Eメール(1人1通)に、住所・氏名(ふりがな)・学年・電話番号を明記し、公民館貫井北分館「森のガラポンビンゴ係」まで。

青少年教育事業 若者による自主講座
「森のえんにち ～お祭り屋台で木とふれあおう!～」 貫井北分館

ボール入れや、ボール投げ、わなげ、もぐらたたき、射的などを通して、森での間伐活動を学びます。

- と き** 1月28日(日)午後2時～4時
と ころ 公民館貫井北分館創作室
対 象 市内在住・在学の小学生
講 師 宮村連理さん(東京学芸大学附属小金井中学校教諭)
企 画 GTEラボ森の仲間たち
定 員 15人(多数抽選)
参加費 100円(材料費)
申 込 12月26日(火)(必着)までに、Eメール(1人1通)に、住所・氏名(ふりがな)・学年・電話番号を明記し、公民館貫井北分館「森のえんにち係」まで。

市民講座 「認知症の介護って!？」
ひとりで悩まずみんなで考えよう」
貫井北分館

介護に関する困ったことを一人で抱え込まずに、みんなで共有しませんか?

- と き** 12月21日(木)午前10時～正午
と ころ 公民館貫井北分館学習室C・D
対 象 介護中の方、介護経験のある方
定 員 8人(申込順) **参加費** 無料
申 込 開催日前日までに電話、Eメールまたは公民館貫井北分館窓口へ。

市民講座
「きたまちカフェ～認知症を予防しよう～」
貫井北分館

きたまちカフェはおしゃべり、麻雀、囲碁などを楽しみ情報交換をする場です。毎月第1月曜日に開催します。

- と き** 12月4日(月)午前10時～正午
と ころ 公民館貫井北分館生活室A・B
対 象 どなたでも
参加費 無料
申 込 当日直接会場へ。

市民講座 きたまちアカデミー
「歴史書「三国志」とその時代
～諸葛孔明とそのライバルたち～」
貫井北分館




日本では卑弥呼が支配していた時代、中国では何が起こっていたのか、時代考証をしながら三国志についての知識を深めます。

- と き** 1月13日、20日(全2回)
いずれも土曜日 午前10時～正午
と ころ 公民館貫井北分館学習室A・B
講 師 佐藤大朗さん(三国志学会評議員)
対 象 市内在住・在勤・在学の方
定 員 30人(多数抽選)
参加費 無料
その他 保育あり(おおむね2歳以上、要事前申込)
申 込 12月22日(金)(必着)までに、往復はがきまたはEメール(1人1通)に、住所・氏名(ふりがな)・年代・電話番号・保育の有無を明記し、公民館貫井北分館「三国志係」まで。

ITサポートセンター
パソコンに関する相談を受け付けます。

- と き** 午後1時～3時
と ころ 第1・3・5週の水曜日 貫井南分館
第2・4週の水曜日 本館
費 用 無料
対 象 市内在住・在勤・在学の方
講 師 ITサポートセンターボランティア
問合先 公民館本館 ☎042-383-1184

◆小金井市各公民館 X(旧 Twitter)アカウント・問合せ一覧◆

公民館本館	公民館貫井南分館	公民館緑分館	公民館東分館	公民館貫井北分館
〒184-0004 本町 2-15-11 ☎042-383-1184 FAX042-387-1226	〒184-0014 貫井南町 4-3-23 ☎042-383-1168 FAX042-387-1228	〒184-0003 緑町 3-3-23 ☎042-387-7301 FAX042-387-7300	〒184-0011 東町 1-39-1 ☎042-384-4422 FAX042-387-1229	〒184-0015 貫井北町 1-11-12 ☎042-385-3401 FAX042-385-3402
3館共通メールアドレス k020499@koganei-shi.jp			k020413@k.email.ne.jp	k020415bz04.plala.or.jp
本館・貫井南分館・緑分館共通アカウント 小金井市公民館 @koganei_koumink			 小金井市東センター @npo_higashi	 公民館 貫井北分館 @cc_nukuikita

心に残った一冊

「管見妄語」

藤原 正彦著

猛暑続きの夏が突然にして去り、爽やかな秋が訪れた。ひと昔まえなら読書の秋と言われたものだが、今では情報入手はテレビ、スマホが圧倒的に多く、活字媒体の王者だった新聞は5割切っているという。となれば、本を読むことは少なくなっているかもしれない。

そんな時代にお勧めしたい本がある。およそ10年間にわたり週刊新潮の冒頭に連載された藤原正彦氏のエッセイ集「管見妄語」である。管見妄語とは「細い管を通して見る、狭い見解」という意味であるが、いやいやどうしてなかなか味のある内容である。

「大いなる暗愚」「卑怯を映す鏡」「始末に困る人」「グローバル化の憂鬱」「知れば知るほど」「とんでもない奴」「できすぎた話」「失われた美風」「常識は凡人のもの」等の単行本になっており、ベストセラーである。

例えば「失われた美風」の中の“選択という地獄”の一部を紹介すると、「選択は苦痛である。サラダドレッシングを売るスーパーでは、それが百種類あるより、三種類しかない方がよく売れるという話を聞いたことがある。百種類では客が選べないという。」「私自身、ケータイを買いに量販店に行った時、とりあえず店員に『色々なことができないケータイください』と言う。電話とメールの送受信ができればよいのに、百種類ものの中から選ぶのは時間がかかるし苦痛でもある。」

このエッセイは短文なので、スマホ感覚で読めるし、寝転びながらでも読める。疲れたら休めばいい。とにかく肩に力が入らず気ままな態度で読める。それに内容はしっかり裏付けが取れているので信頼もできる。かつ表現も面白いから一気に読みたくなるから不思議である。

藤原正彦氏は「国家の品格」という本で有名になったが、元々は数学者である。父は「八甲田山の彷徨」を書いた新田次郎氏であり、母は「流れる星は生きている」を書いた藤原てい氏。そして妻は正彦氏に劣らないエッセイストの藤原美子氏。まさに文学一家である。

騙されたつもりで手に取られてみては如何か。視野が広がること請け合いです。

(緑町在住 極楽とんぼ)

古紙配合再生紙を使用しています。

成人学校 健康づくり講座

「健康増進のための正しいウォーキング講座」

実施 10月20日・27日 貫井北分館



正しい歩き方を学び、健康な体づくりをすることを目的に開催しました。

参加者は60代から80代までの20人。

1日目は座学でウォーキングのメリット、正しいウォーキングやウォーキングの効果を高めるポイント、靴選びのポイントなどを学んだ後、実技を行いました。靴の履き方、ストレッチ、筋トレ、正しい姿勢や腕振り、足の使い方などを教えていただきました。途中ビデオ撮影を行い、最後にビフォーアフターの映像を見ました。

2日目は屋外を3キロほど歩きました。坂道や階段の上り下り、インターバル速歩など、より効果的な歩き方を学びました。

●参加者の感想●

- ウォーキングの基礎、正しい歩き方が学べて、これから役立てていきたいです。
- 歩き方に自信がなかったのですが、実際に歩いてみたり、ビデオで自分の姿を見たり、外を歩くのも色々な歩き方をその場でわかりやすく教えていただいたので、とても勉強になりました。
- 外ウォークは、下り坂は歩幅を狭くなど、ウォーキング実施としていい経験になりました。

月刊こうみんかん 11月号のお詫び

11月1日発行の月刊こうみんかん11月号の4面公民館全館問合せ一覧に郵便番号及び各館のEメールアドレスの掲載がありませんでした。大変ご迷惑をおかけいたしました。

小金井市公民館